

敬愛

Love
Respect

Handsome

Spring 2024 No.411

巻頭記事

1月新年例会開催

義援金についてのお知らせ / 1月新年例会を終えて

2月例会開催 2月例会を終えて / 新入会員アトラクション

50周年ロゴ決定! / 厄落としの会 / 彼(彼女)がした貢献

大山お地蔵さまプロジェクトについて

トライアスロン実行委員長決定

卒会予定者より敬愛する中央会生活を振り返って / 会員が敬い愛するもの

新入会員紹介 / 編集後記

◆発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中村 友紀 ◆編集責任者:担当副会長 住 真介 ◆制作・編集:第49期総務委員会 委員長 大江 史紀

1月新年例会開催

令和6年1月15日(月)、第49期 新年賀詞交歓会がANAクラウンプラザホテル米子にて、ご来賓12名、OB会員62名をお招きし、現役会員59名を加えた計133名で行われた。当会の創立50周年に向けた開催であり、事業の成功を一同で誓い合い閉会した。

冒頭、新入会員の合原会員にバッジが授与され「まだ右も左も分かりませんがこれから頑張っていく」と抱負を語った。ご来賓を会場へお招きした後、能登半島地震に被災された方々へ黙祷を行った。



会長挨拶では「スローガンを『敬愛』とし、当会の歩んできた歴史に親しみと敬いの気持ちで創立50周年へとつなぎ、時代に即した形でこの地域を支える経済団体を目指した。活動テーマを『貢献意識のある学びと発信』とすることで経済団体の垣根を越えて学びの場を広げたい」と説明があった後、半年間の活動報告を行った。

ご来賓の代表として赤沢亮正衆議院議員、湯原俊二衆議院議員にご挨拶を頂いた。赤沢議員は「賃金の格差が少なくなれば人口流出もとまり、東京への一極集中も是正できる。一番人口の少ない鳥取県が先頭を走り、地方創生を成功させたい。これが一番の貢献と思っている。力を合わせ、なんとか尻上がりに良い年にしたい」と述べられ、続く湯原議員は「青年中央会はオイルショックで日本が大変な時期に若い力を結集しようという事で結成された。当時と同じく国内外の状況は厳しいが、中央会は寺子屋。切磋琢磨し野武士のようなバイタリティをもってほしい」とご挨拶頂いた。



続いて福田一哉OB会長より「在籍当時の先輩から『時間を作るのも能力だ』と教えられた。年を取ってから余暇を人のた

めに使うのではなく、この場にいる方の中から地方や国を引っ張ってける風雲児が出てくるよう祈念している。今後も同じ釜の飯を食う仲間として中央会をつくり上げていってほしい」とご挨拶頂いた。

鏡開きを行った後、伊木隆司米子市長は「今年はずっとさばしやぶがブレイクするよう頑張りたい」と乾杯のご挨拶を頂き交歓会がスタートした。

しばらくの歓談の後、50周年事業のPRが行われた。安藤委員長は事業のロゴデザインを公開し「5は英知、0は友愛、二つが重なり合った部分の黒は団結をイメージしている。スローガンの通り地域の皆様に感謝と恩返しをするべく事業を行っていく。50周年記念式典・祝賀会その他ゴルフコンペなどを企画している」と述べ、周年事業の成功を約束した。また、この度、OB会から50周年を祝して助成金が授与され、目録及び感謝状の贈呈式を執り行った。

続いてベリーダンスステレッシュによるダンスが披露された。ステージ上だけでなくテーブル近くでもダンサーが踊りを披露し、会場を盛り上げた。続く新入会員アトラクションでは和太鼓による演奏「NEO(ネオ)囃子朱龍の泉」が披露された。和楽衣箱(わらいばこ)高森氏には太鼓の指導を受けただけでなく、本番は笛の演奏者としてご出演頂いた。一糸乱れぬパフォーマンスにより会場は歓喜に包まれ、拍手が飛び交った。

新入会員の自己紹介の後に中締めを伊達憲太郎境港市長へお願いし「皆様にとって縁起の良い年になるよう祈念している」とご挨拶いただき、盛況のうちに閉会した。

（記事：高田）

（記事：高田）

（記事：高田）

（記事：高田）

（記事：高田）

（記事：高田）

（記事：高田）

（記事：高田）

（記事：高田）

義援金についてのお知らせ

この度の1月新年例会において、令和6年能登半島地震に伴う義援金を募らせていただき、4万5335円の温かいご寄付をいただいたことをお知らせいたします。なお、今回の寄付金は1月24日に日本赤十字社を通じて被災地へとお届けいたしました。皆様の温かい協力が被災地の支援に繋がりと、心よりお礼申し上げます。

1月新年例会を終えて

コロナウイルスが5類となり、初めて開催された1月新年例会では、来賓12名、OB会員62名、現役会員59名の合計133名の方々にご参加いただき、盛大に開催されました。年始の大変お忙しい中、足を運んでいただいたご来賓及びOB会員の皆様、誠にありがとうございました。また、50周年のプロモーションをしっかりと行っていたいただいた安藤委員長、そしてこの1月新年例会を力強い太鼓で盛り上げていただいた新入会員の皆様も本当にお疲れ様でした。50周年の船出にふさわしい素晴らしいアトラクションでした。この流れと勢いで、中村会長が掲げられた2つのスローガン、「敬愛」と「感謝と恩返し」の心をもって、皆様と協力し、ますます周年事業を推進し、盛り上げて参りましょう！ 総務委員会 委員長 大江史紀(株式会社島津組 不動産事業部 部長)

2月例会開催「20XX年の未来を考える～近未来に直面する社会問題～」



令和6年2月15日、ANAクラウンプラザホテル米子にて臨時総会、2月例会が開催された。冒頭、中村会長の挨拶では「当会にとって本日は特別な日であり、皆で喜びを分かち合えればと思います。」と述べられた。臨時総会では、「次年度(50期)県会長候補承認の件」として足立駿会員を次年度県会長候補として推薦され、満場一致で可決承認された。

委員長タイムでは中央会発信委員会の長谷川委員長より、趣味と休日の過ごし方の話があり、長谷川委員長の新たな一面を知ることができた。

2月例会では、「20XX年の未来を考える～近未来に直面する社会問題～」と題し、政治・ビジネス委員会メンバーによる今後直面する社会問題についての説明と、近未来に生まれてくる可能性のある新たな技術を使うことで、どのようなビジネスチャンスがあるのかをグループワークで理解を深めた。人口減少やインフラなどの進化、経済の変化によるリスクに対して早い段階から対応し、今後生まれてくる技術を上手く活用し、既

存の仕事の進化や新たなビジネスモデルを考えていく重要性を学ぶことができた。

(記事:松田)



2月例会を終えて

2月例会に多数のご参加を頂き、ありがとうございました!

今回は「人口」・「インフラ」・「経済」という3つの社会問題を通して、10年後・20年後、私達の向かう未来はこれからどうなるのか?ということをお会員の皆さんに講義やワークを通して考えて頂きました。例会を終えた今、振り返ってみても正解の無いような大変難しいテーマを取り上げたうえに、手作り例会ということで委員会メンバーの皆様には大変な勉強量と労力を頂きました。本当に感謝です!

例会で申し上げた通り、これから各問題に起因して大変難しい未来が予想されていますが、様々な新しい可能性やチャンスも十分にあると考えます。実際、ワークでは面白いビジネスアイデアも沢山出ました。ぜひとも例会で学んだことや自分が考えたことを会社や周囲の人達と共有して頂き、皆にとってより良い未来を目指してそれぞれ進んでいってほしいと思います。

政治・ビジネス委員会 委員長 小坂 泰彦
(有限会社はなや 取締役)



新入会員アトラクション

第49期新入会員アトラクションリーダーを務めさせていただきました。総務委員会所属の松原です。昨年の10月12日に新入会員アトラクションを決める会議を行ってから本番まで目まぐるしい3ヶ月でした。アトラクションとして太鼓を行う事、講師の先生、演目を決めていたら、あっという間に時間は過ぎ、初回練習は12月1日。そこから計5回全体練習を行いました。本番前日まで振付の修正がありましたが、講師の先生の前でメンバー全員が揃うことはありませんでした。その状況の中で迎えた本番当日、控室では全員が不安と緊張でいっぱいだったと思います。いざ始まった本番では私が序盤に豪快に間違えたものの、全員一丸となって堂々と演技切ってくれたため、何とか無事に披露することが出来ました。披露した後は新入会員全員が「楽しかった」「みんなと出来て良かった」と言い合える姿を見て、アトラクションを通して絆が深まったことを実感し、このメンバーと過ごす今後の中央会生活が楽しみになりました。

1人では何もできない私ですが、新入会員のメンバーや多くの先輩方の激励、理解ある会社や家族に支えられてリーダーという大役を全うすることが出来ました。本当にありがとうございました。

総務委員会 松原 知大(日本海冷凍魚株式会社 シニアスタッフ)



50周年ロゴ決定!



【デザインコンセプト】

個々の文字たちには、当会のテーマを軸とした想いをこめています。

『5』は“英知”。結晶を彷彿とさせる柄で、所属者の優秀さそして、自己の研鑽を表しています。

『0』は“友愛”、手を取り合って周囲の人々を支える様子から、他者を思いやることのできるあたたかな心を。

『文字が重なり合う箇所』は“団結”。各文字をしっかりと繋げる様子で、周りを引き合って結ばれる強固な繋がりを。

全体としては、直線・曲線の規則的な形でまとめ、太さのある文字で構成する事で、当会の規律正しい硬派さや地域に根ざした安定感を感じさせる一方、ややカジュアルで温かみのあるデザインにする事で地域の老若男女の人々に親しみを表すロゴでもあります。

また、統一した角度の大きな斜線によって疾走感をもたせ、これから何年、何十年先も駆け抜け続ける会として印象付けます。

そして、右上の図形3つは簡略化した鳥取県西部の形になっており、今後も地域と共に歩み、発展していこうとする様子を表現しています。

米子
2024/5/25 sat.
時間 15:00~20:30
会場 湊山公園自由広場

—わたしの夢でみんなの星空を—

一人では描けない星空。私たちだけでも描けない星空。私たちが描きたい星空は地域の人々と共に描く星空です。この星空がこの地域にとって特別な景色になる事を願って…。



厄落としの会

総務委員会 武良春香

(明治安田生命保険相互会社 支部マネージャー)

令和6年1月13日(土)に勝田神社にて厄落としの会を行いました。雨や雪の降る寒い日でしたが丁寧に1人1人の名前を呼んで頂き祈禱してもらいました。今年の厄年は昭和57.58.59年生まれの男性と昭和63年生まれの女性の私を含め16名で参加しました。そのうち本会は11名で、多いように感じましたが、それだけお仕事や中央会でも活躍される年代であることがわかります。ますます活躍出来るよう体調や私生活に、いつもより少し気遣いながら日々良い行いを意識していきます。そして中央会50周年記念行事に向けて一致団結し、楽しんでいきたいです。



彼(彼女)がした貢献

県出向理事 高見 秀幸 (株式会社さんれいフーズ 副参事)



私の中央会生活の中で一番お世話になったのは山陰酸素工業株式会社の田本真大君です。第48期高井年度に政治行政委員会の委員長を仰せつかり田本君は副委員長を務めてくれました。委員会メンバーと数々の事業を進めていく中で特に心に残っているのが10月担当例会です。なぜ心に残っているかという越えなければならない壁がたくさんあったからです。その壁に立ち向かっていく中でも助けてくれたのが田本君でした。特

に大きな壁が例会会場の選定でした。いつものビッグシップや米子市文化ホールなどごとく会場に空きがなく困り果てていました。

そんな状況を突破してくれたのが田本君のナイスアイデアでした。「米子商工会議所はどうですか」まさに灯台下暗しとはこのこと。西部青年中央会の事務所が入っている建物です。ホームといっても過言ではないこの建物には立派な大会議室がありました。会場選定後も例会会場として初めて利用するためゼロから会場図を作ってくれました。

その当時、田本君の勤務地は転勤のため出雲市でした。彼の距離を感じさせないフットワークの軽さは我々、48期政治行政委員会を救ってくれ、盛り上げてくれた縁の下の力持ちです。

大山お地蔵さまプロジェクトについて

第1回開催から来年10年の節目を迎えるにあたり、会員一人ひとりが継続事業への思いを共有し理解を深める機会として、今年のお地蔵さまプロジェクトはフェスティバル形式ではなく4月例会として開催されることになりました。

また、恒例のお地蔵さま清掃活動、そして、地域のお子様による、お地蔵さまの似顔絵や塗り絵の作品展は5月に開催予定です。詳細については後日ご報告させていただきます。

トライアスロン実行委員長決定

敬愛委員会 宇佐見 啓輔(エレックス株式会社 執行役員)



令和6年7月14日(日)に開催される第42回全日本トライアスロン皆生大会において、中央会での実行委員長を拝命いたしました宇佐見です。

トライアスロンと中央会の関わりは、1986年の第6回大会に遡ります。当会から出場している会員を応援するため、バスを出して声援を送ったり、ボランティアが不足していたエイドステーションを手伝ったりしたことがきっかけとなり、翌年から現在に至るまで継続して大会本部へ役員や

スタッフを派遣し、大会実行委員会の一翼を担ってきたと聞いております。また、大会本部役員に当会OBの方々が就任し、中央会の関与が無ければ、大会の運営は成り立たないと言って頂けるまで深く関わっており、大役に責任の重さを感じております。

今回も「ボランティア部」「マラソン部」の部長と部員を派遣、またエイドステーションでの選手支援を行うなど中央会全体で大会に関わっていきます。また、7月は当会の50周年事業も開催します。激動の日々になるかと思いますが、地域を支える経済団体としての役目を果たせるよう精一杯努めていきたいと思っておりますので、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。

率会予定者より 敬愛する中央会生活を振り返って

政治・ビジネス委員会 内田 隆嗣(株式会社クローバーホールディングス 代表取締役)



中央会を卒業する年になったのだな~と思うと、あらためてゾツとする。入会したのは27か28だから早いもので、17年か、...

27歳の僕は、中

央会の正式名称が鳥取県西部中小企業青年中央会であることも知らなければ、東京から帰ってきて1年も経たないのだから、当然、通称・経済人と言う人達との人間関係もほとんど無く、独身で世間知らずの夢と希望に溢れた20代後半男子だった。

さて、そんな僕だけれど、米子市議会議員という公職にあったからだと思うが、当時の中央会の会長だった武海氏から、お手紙をいただいた。丁寧に手書きの文章だったことを覚えている。入会当時の所属企業は、内田養魚場、.....。祖父が細々とやっていた錦鯉屋さん。経営者か経営幹部候補?

そして、17年、.....、沢山の人の迷惑をかけながら。

役員会にすら出たことがない、僕にとっての中央会はあらためて何だったのだろうか?

27年前の自分が今の自分を見たら何ていうだろうか?

「何やってんだか、....」? 「悪くないじゃん、....」? 「変わらないね、.....」? 「大丈夫か、.....」? 今の自分を振り返る。

今言えるのは、「ありがとう。」かな、.....。

会員が敬愛するもの

敬愛委員会 伊澤 佑矢(米子信用金庫 審査管理部次長)



私の人生の中で敬愛する存在、それは理学療法士です。現在44歳の私は、腰痛という長年の悪友と共に歩んできました。中学生の時から始まったこの友情は、椎間板へ

ルニアという名の新たな友を引き寄せ、2度の入院へと導きました。そう、私は腰痛王、その名の通り腰が非常に弱いのです。

しかし、この苦難が私にとっての転機となったのです。入院時のリハビリで、理学療法士の力を初めて知りました。彼らはただ触れるだけで、痛みの原因となる箇所を特定し、治療を施すことができるのです。その技

術にはただただ驚くばかりでした。

退院後、再びその痛みを経験したくない一心で、理学療法士が行う整体に通い始めました。しかし、慢性的な痛みはなかなか改善されませんでした。その理由は、「治療に対して受け身であればあるほど、慢性的な痛みは改善しにくくなる」ということでした。そこで私は理学療法士の治療を受けながら、指導されたストレッチを行い、痛みをコントロールしつつ、痛みの原因となった生活習慣を変えました。

そして、ストレッチを始めてからの副次的効果として、体重がかなり落ちました。これは予想外のことで、痛みと共に、体重も減っていったのです(7~8キロ落ちました笑)。

私が敬愛する理学療法士たちは、私にとっての救世主。彼らのおかげで、私は自分の体の現状と向き合い、腰痛を乗り越える力を得ることができたと思っています。

私はこれからも理学療法士たちを敬愛し続け、悪友(ようつう)との関係を完全に断ち切りたいと思います。ちなみに当会OBである堀尾さんも最近私の戦友(ようつう)となり、悶えておられました笑。それでは、皆さん、腰には気をつけて!

〈新入会員〉

	ごう はら ゆう き	AB型
	合原 悠 貴	
	Riseシステム 代表	
	パチンコホール設備機器修理、施工	
	〒684-0043 鳥取県境港市竹内町3659-51 TEL : 080-4551-5989 FAX : 0859-21-8283 (KT)080-4551-5989 (EM)risystem1001@gmail.com	
R05.12(R05年度)入会 (推薦者)仲佐(大) 徳中(大)	S64.1生	

〈コメント〉 Riseシステム代表の合原悠貴です。主にパチンコホール内の設備機器の施工、メンテナンスをしております。右も左もまだわかりませんが頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

編集後記

来月5歳の息子と名古屋のレゴランドに行きます。宿泊先もレゴランドホテル。「布団もレゴなんだって」と言う。「えーならボコボコで硬いから寝れるかな?」と言いました。子供はとて純粋です。楽しんでます。

(記事:山根)